

令和4年11月4日
地域福祉推進室

秋田市地域福祉市民意識調査について

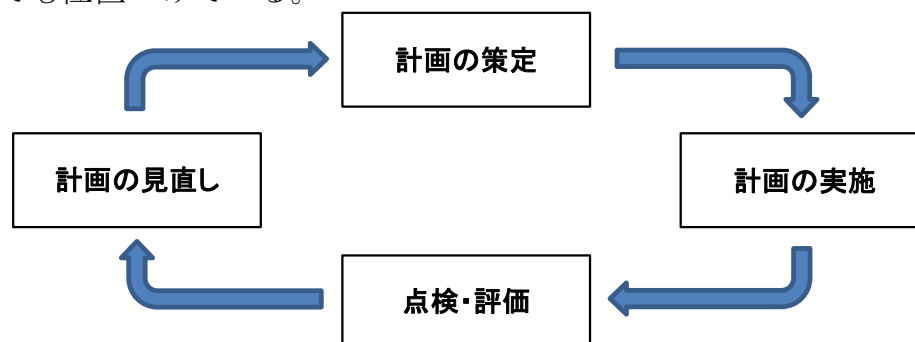
1 調査の目的

次期秋田市地域福祉計画の策定作業を進めるうえで必要となる地域福祉ニーズや地域福祉施策の評価等の基礎資料を得るために実施する。

2 調査の位置づけ

現行の第4次計画において、計画の見直し（第5次計画策定）の際には、次期計画につなげるために総合的な評価を行うこととしている。この市民意識調査の結果分析を評価方法のひとつとしており、計画の策定、実施、点検、評価のサイクルのなかの評価の段階にあたるものである。

また、第5次計画の策定段階においては、市民等からの意見聴取の方法のひとつとしても位置づけている。



3 質問項目の設定

現行計画の施策体系は3ページの施策体系図のとおりであり、全7施策のうち、市民意識調査を元にした目標指標を設定しているのは7施策となっている。そのため、残る6施策について、評価の基礎資料とするため、資料2のとおり、新たな質問（調査）項目を設ける。

4 実施手法

- (1) 調査実施期間：令和4年12月
- (2) 調査対象者：18歳以上の市民から無作為抽出した2千人
人口世帯表に基づく地域別人口比率により抽出
- (3) 実施方法：郵送による無記名アンケート

(4) 調査する項目

以下の内容に関する 38 項目

- ① 地域福祉に関するニーズと課題
- ② 地域活動の現状と住民の意識
- ③ 現在の制度の周知状況、利活用状況
- ④ 地域福祉推進のための活動の方向性
- ⑤ 回答者の属性情報

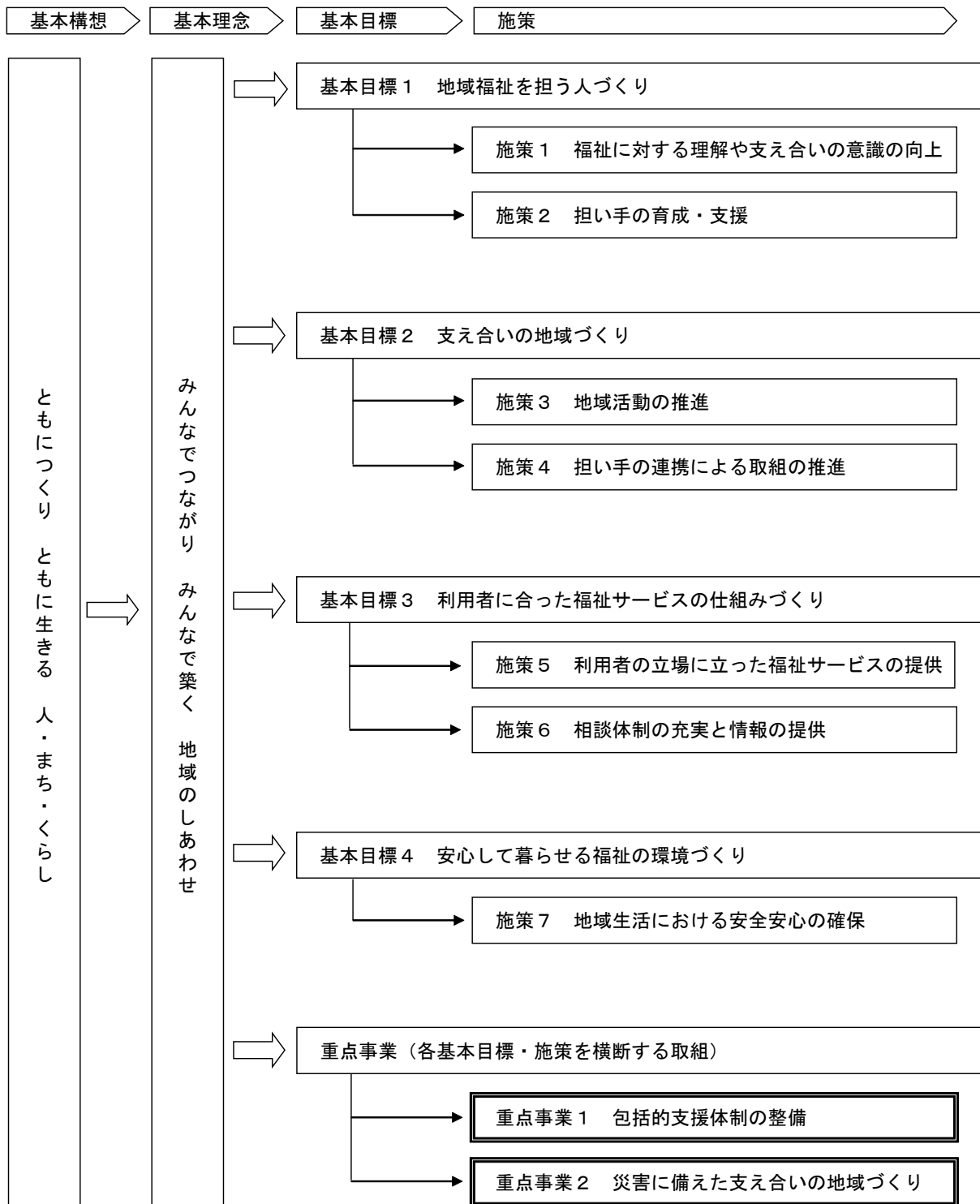
(5) 実施日程

1 1 月 4 日	調査票内容審議（地域福祉推進専門分科会等）
1 1 月上旬	標本抽出
1 2 月中旬	印刷・封入作業
1 2 月下旬	発送
1 月中旬	回収
1 2 ～ 1 月	集計・分析
1 月下旬	分科会への報告等（速報値）

5 第 5 次計画策定に向けたスケジュール（予定）

令和 4 年度		
11 月	地域福祉専門分科会（第 2 回）	市民アンケート調査について
12 月	市民アンケート調査実施（委託事業）	ニーズ把握・現状分析
2 月	地域福祉専門分科会（第 3 回）	策定の方針について
令和 5 年度		
5 月	全体会・地域福祉専門分科会	第 5 次計画策定について（諮問）
	地域福祉専門分科会（2 ～ 3 回予定）	策定作業
	市民等からの意見聴取	パブコメ等
2 月	地域福祉専門分科会・全体会	第 5 次計画策定について（答申）

第4次計画の施策体系図



市民意識調査(アンケート)項目の設定について

アンケート設定項目(全40問)

1 地域福祉に関するニーズと課題を探る → 日常生活の困りごとについてお聞きします

問 1	あなたと福祉の関わりは？
問 2	福祉情報の入手手段は？
問 3	日常の困りごとの相談相手は？
問 4	近所の人から手助けをうけていることは？
問 5	近所の人に手助けをしていることは？
問 6	もし、不自由になったら近所の人から手助けして欲しいことは？
問 7	もし、不自由になった近所の人がいたら手助けできることは？

2 地域活動の現状と住民の意識を探る → 地域活動についてお聞きします

問 8	近所とのつきあいの程度は？
問 9	町内会又は自治会に加入しているか？
問 10	どのような地域活動に参加しているか？
問 11	地域活動参加にあたっての支障は何か？
問 12	地域福祉活動が促進されていると感じるか？
問 13	関係機関が連携した活動が多くなったと感じるか？

3 現在の制度の周知状況、利活用状況を探る → 地域福祉を支える制度についてお聞きします

問 14	地域福祉の考え方に賛同できるか？
問 15	地区社協を知っているか？
問 16	民生委員・児童委員を知っているか？
新 問 17	保護司を知っているか？
問 18	地域包括支援センターを知っているか？
問 19	子ども未来センターを知っているか？
問 20	地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)を知っているか？
問 21	成年後見制度を知っているか？
新 問 22	権利擁護センターを知っているか？
問 23	サービスが適正に供給されていると感じるか？
問 24	緊急時に備えるための活動が増えていると感じるか？
問 25	バリアフリー化が進んでいると感じるか？
問 26	自立した生活のための支援等が増えたと感じるか？

4 地域福祉推進のための活動の方向性を探る → これからの地域づくりに関してお聞きします

問 27	地域づくりの支障となることは？
問 28	高齢者等が地域で生活していくためには誰の理解と協力が必要か？
問 29	福祉サービスを提供していくうえで市民と行政の望ましい関係は？
問 30	地域の絆をはぐくむためには地域社会がより力を入れることは？
問 31	行政が福祉を進めるために優先して取り組むべきことは？
問 32	住みよい地域社会を築いていくため福祉施設はどう関わるか？
問 33	協働により状況が改善できると思う生活課題は？

5 回答者の属性を把握する → あなたご自身についてお聞きします

問 34	性別と年齢
問 35	住んでいる地域
問 36	秋田市居住年数
問 37	居住形態
問 38	職業
問 39	家族構成
問 40	暮らし向き

秋田市地域福祉市民意識調査の質問項目対照表

令和4年11月4日
地域福祉推進室

	前回調査(第4次地域福祉計画策定時)		今回調査案(第5次地域福祉計画策定時)				
実施時期	平成30年1月10日から24日まで		令和4年12月				
調査対象者	住基より抽出した市民2,000人(18歳以上) 人口世帯表に基づく市内7地域から人口比率により抽出		住基より抽出した市民2,000人(18歳以上) 人口世帯表に基づく市内7地域から人口比率により抽出				
調査方法	郵送による無記名アンケート調査		郵送による無記名アンケート調査				
回答状況	有効回答数 919人(46.0%)		有効回答者数見込み 50%				
質問数	38項目		40項目				
質問項目	No.	質問内容	No.	質問内容	備考	第4次計画の7施策の評価に使用	第4次計画第2章(現状と課題の把握)に使用
(1) 地域福祉に関するニーズと課題							
	1	福祉との関わり	1	福祉との関わり		施策2 担い手の育成・支援	
	2	福祉情報の入手手段	2	福祉情報の入手手段			
	3	生活課題の相談相手	3	生活課題の相談相手			
	4	生活課題の相談をしている内容	4	生活課題の相談をしている内容			重点事業2 災害に備えた支え合いの地域づくり(P24)
	5	生活課題の相談を受けている内容	5	生活課題の相談を受けている内容			
	6	要援護状態になったら、近所に相談したい内容	6	要援護状態になったら、近所に相談したい内容	重点事業関連		
	7	要援護状態になった隣人に、してあげられること	7	要援護状態になった隣人に、してあげられること			
(2) 地域活動の現状と住民意識							
	8	近所づきあいの程度	8	近所づきあいの程度			福祉に対する理解や支え合いの意識の向上(P31)
	9	町内会への加入状況	9	町内会への加入状況			
	10	地域活動への参加状況	10	地域活動への参加状況		施策3 地域活動の推進	担い手の育成・支援(P32)
	11	地域活動への参加に支障となること	11	地域活動への参加に支障となること			重点事業3 担い手の連携による地域コミュニティ活動の活性化(P26) 地域活動の推進(P34)
	12	地域福祉活動が促進されていると感じるか	12	地域福祉活動が促進されていると感じるか			
	13	関係機関が連携した活動が多くなったと感じるか	13	関係機関が連携した活動が多くなったと感じるか		施策4 担い手の連携による取組の推進	
(3) 現在の制度の周知状況、利活用状況							
	14	「地域福祉計画」についての考え方	14	「地域福祉計画」についての考え方		施策1 福祉に対する理解や支え合いの意識の向上	福祉に対する理解や支え合いの意識の向上(P31)
	15	「地区社会福祉協議会」の認知度	15	「地区社会福祉協議会」の認知度			
	16	「民生委員・児童委員」の認知度	16	「民生委員・児童委員」の認知度			
			17	「保護司」の認知度	再犯防止推進計画関連で追加		
	17	「地域包括支援センター」の認知度	18	「地域包括支援センター」の認知度		施策6 相談体制の充実と情報の提供	相談体制の充実と情報の提供(P37)
	18	「子ども未来センター」の認知度	19	「子ども未来センター」の認知度			
	19	「地域福祉権利擁護事業」の認知度	20	「地域福祉権利擁護事業」の認知度			
	20	「成年後見制度」の認知度	21	「成年後見制度」の認知度			相談体制の充実と情報の提供(P37)
			22	「権利擁護センター」の認知度	施策6の評価の補助 成年後見制度利用促進基本計画関連で追加		
	21	サービスが適正に供給されていると感じるか	23	サービスが適正に供給されていると感じるか		施策5 利用者の立場に立った福祉サービスの提供	
	22	緊急時に備えるための活動が増えていると感じるか	24	緊急時に備えるための活動が増えていると感じるか		施策7 地域生活における安全安心の確保	
	23	バリアフリー化が進んでいると感じるか	25	バリアフリー化が進んでいると感じるか			
	24	自立した生活のための支援等が増えたと感じるか	26	自立した生活のための支援等が増えたと感じるか			
(4) 地域福祉推進のための活動の方向性							
	25	地域づくりの支障となること	27	地域づくりの支障となること			
	26	高齢者・障がい者等の日常生活に理解・協力が必要な相手	28	高齢者・障がい者等の日常生活に理解・協力が必要な相手			地域活動の推進(P33)
	27	福祉サービス提供上、市民と行政の関係	29	福祉サービス提供上、市民と行政の関係			担い手の連携による取組の推進(P35)
	28	地域ぐるみでどのような取組をすべきか	30	地域ぐるみでどのような取組をすべきか			地域生活における安全安心の確保(P38)
	29	行政が優先的に取り組むべきもの	31	行政が優先的に取り組むべきこと			利用者の立場に立った福祉サービスの提供(P36)
	30	福祉施設が地域社会とどう関わっていけばよいか	32	福祉施設が地域社会とどう関わっていけばよいか			担い手の連携による取組の推進(P35)
	31	地域社会が積極的に関わることで改善されること	33	地域社会が積極的に関わることで改善されること			地域生活における安全安心の確保(P39)
(5) 属性情報							
	32	性別・年齢	34	性別・年齢	分析に必要な基本情報		
	33	居住地域	35	居住地域			
	34	居住年数	36	居住年数			
	35	居住形態	37	居住家屋の形態			
	36	職業	38	職業			
	37	家族形態(同居家族)	39	同居家族の構成			
	38	暮らし向き	40	暮らし向き			

新しい地域福祉計画をつくるため アンケートにご協力をお願いします

市内に住む18歳以上のかたから2千人を無作為に選び、調査票をお送りさせていただきました。調査票のご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、1月 日()まで切手を貼らずにポストに入れてください。

秋田市地域福祉市民意識調査

秋田市では、令和5年度に新しい地域福祉計画を策定します。

このアンケートは、市民のみなさんの考えや意見を新しい計画づくりに活かしていくために行うもので、調査結果は、それぞれの地域における生活課題を拾い出し、課題解決に向けて検討していくための基礎資料として活用されます。

回答は無記名で、ご記入いただいたことは、すべて統計的に処理されますので、あなたの回答が外部へもれたり、ご迷惑をおかけしたりすることはありません。

これからの福祉をかたちづくるための大切な調査ですので、お手数をおかけしますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

令和4年12月

秋田市長 穂 積 志

地域福祉計画とは、

誰もが身近な地域社会で自立した生活を営めるよう、みんなで支えあう地域社会をつくっていくため、市民のみなさんが参加してつくり、進めていく計画です。(社会福祉法第107条)

【ご記入のしかた】

- できるだけ、あなた自身でお書きください。
ただし、あなた自身が記入できない場合は、家族のかたなどあなた自身の状況がわかるかたが代わりにご記入ください。
- 答えは、各質問ごとにあてはまるものを選んで、番号に○をつけてください。
必要に応じて、具体的にご記入ください。
- 鉛筆、ボールペンなど、何でお書きになってもかまいません。
- その他、ご不明なことがありましたら、下記へお問い合わせください。

秋田市役所 福祉保健部 福祉総務課地域福祉推進室

電話：888-5661 FAX：888-5658

電子メール：ro-wfmn@city.akita.akita.jp

秋田市地域福祉市民意識調査 調査票

1 日常生活の困りごとについてお聞きします

質問1 現在、あなたは「福祉」とどのような関わりがありますか。次の中から該当するものをすべて選んでください。

- 1 関わりはない
- 2 福祉に関わる仕事やボランティア活動をしている
- 3 高齢（要介護、要支援、ひとり暮らしなど）のため、福祉サービスを必要としている
- 4 障がいがあるため、福祉サービスを必要としている
- 5 子育て中のため、福祉サービスを必要としている
- 6 病弱のため、福祉サービスを必要としている
- 7 ひとり親家庭のため、福祉サービスを必要としている
- 8 生活が困窮しているため、福祉サービスを必要としている
- 9 身近に福祉サービスを受けている人がいる
- 10 その他（具体的に)

質問2 あなたが市の福祉に関する情報を得る主な手段はどれですか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 市の広報紙（広報あきた）
- 2 公共施設の掲示やパンフレットなど
- 3 町内会の回覧板
- 4 新聞、テレビなど
- 5 福祉団体の広報紙
- 6 インターネット
- 7 口コミ（知人から聞いた）
- 8 福祉関連の相談窓口
- 9 その他（具体的に)

質問3 あなたは、日常生活の困りごとを誰に相談していますか。よく相談する相手を、次の中から3つまで選んでください。

- 1 同居している家族
 - 2 同居していない家族
 - 3 親戚
 - 4 近所の人、町内会・自治会の役員
 - 5 知人・友人、職場の人
 - 6 行政機関の相談窓口（市役所、交番など）
- …次ページへつづく

- 7 福祉施設などの相談窓口（地域包括支援センター、基幹相談支援センターなど）
- 8 社会福祉協議会
- 9 民生委員・児童委員
- 10 地域保健推進員
- 11 ヘルパー、ケアマネジャー、主治医など
- 12 NPO団体 ※
- 13 相談できる人がいない
- 14 困りごとはない
- 15 その他（具体的に)

※【NPO団体】 福祉、社会教育、環境など様々な社会貢献活動を非営利で行う団体のこと

質問4 現在、あなたが近所（すぐに顔を出せる程度の範囲）の人から手助けを受けていることがあれば、それはどのようなことですか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 安否確認の声かけ
- 2 話し相手
- 3 悩みごと、心配ごとの相談
- 4 買い物・ごみ出しなど簡単な家事の手伝い
- 5 食事の提供、調理の手伝い
- 6 玄関前の掃除、除雪
- 7 通院など外出時の付き添い
- 8 町内会の掃除当番などの軽減
- 9 短時間の留守番、子どもの預かり
- 10 災害時の避難支援
- 11 日常生活に不自由はあるが、地域の人の手助けを受けていない
- 12 手助けを必要としていない
- 13 その他
(具体的に)

質問5 現在、あなたが近所の困っている人（高齢や病気などで日常生活が不自由な人）に手助けをしていることがあれば、それはどのようなことですか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 安否確認の声かけ
- 2 話し相手
- 3 悩みごと、心配ごとの相談
- 4 買い物・ごみ出しなど簡単な家事の手伝い
- 5 食事の提供、調理の手伝い
- 6 玄関前の掃除、除雪
- 7 通院など外出時の付き添い
- 8 町内会の掃除当番などの軽減
- 9 短時間の留守番、子どもの預かり
- 10 災害時の避難支援
- 11 近所に困っている人はいるが、とくに手助けはしていない
- 12 近所に困っている人はいない(知らない)
- 13. その他
(具体的に)

質問6 もし、あなたが高齢や病気などで日常生活が不自由になったら、近所の人に手助けをしてほしいことはどのようなことですか。次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1 安否確認の声かけ | 8 町内会の掃除当番などの軽減 |
| 2 話し相手 | 9 短時間の留守番、子どもの預かり |
| 3 悩みごと、心配ごとの相談 | 10 災害時の避難支援 |
| 4 買い物・ごみ出しなど簡単な家事の手伝い | 11 特にない |
| 5 食事の提供、調理の手伝い | 12 その他 |
| 6 玄関前の掃除、除雪 | (具体的に |
| 7 通院など外出時の付き添い |) |

質問7 もし、あなたの近所に日常生活が不自由で困っている人がいたら、あなたができる手助けはどのようなことですか。次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1 安否確認の声かけ | 8 町内会の掃除当番などの軽減 |
| 2 話し相手 | 9 短時間の留守番、子どもの預かり |
| 3 悩みごと、心配ごとの相談 | 10 災害時の避難支援 |
| 4 買い物・ごみ出しなど簡単な家事の手伝い | 11 特にない |
| 5 食事の提供、調理の手伝い | 12 その他 |
| 6 玄関前の掃除、除雪 | (具体的に |
| 7 通院など外出時の付き添い |) |

2 地域活動に関してお聞きします

質問8 あなたは、近所の人とどの程度のつきあいがありますか。次の中から1つ選んでください。

- | |
|--------------------------------------|
| 1 どんな相談や頼みごとでもできる人がいる |
| 2 軽易な相談や頼みごとならできる人がいる |
| 3 本当に困ったときならば助けてくれる人がいる (と思う) |
| 4 顔を合わせれば会話や挨拶をするが、相談や頼みごとまでできる人はいない |
| 5 近所の人顔は知っているが、声をかけることはほとんどない |
| 6 近所の人顔も知らない |
| 7 その他 (具体的に |
|) |

質問9 あなたの世帯は、町内会又は自治会に加入していますか。

- | |
|-----------------|
| 1 加入している |
| 2 加入していない (その理由 |
|) |
| 3 わからない |
| 4 その他 (具体的に |
|) |

質問10 あなたは、どのような地域活動（地域での自治活動や市民活動）に参加していますか。次の中から該当するものをすべて選んでください。

- 1 町内会・自治会などの地域自治活動
- 2 地区社会福祉協議会、地区市民憲章推進協議会などの地域団体の活動
- 3 老人クラブ、婦人会、青年会などの住民同士の親睦活動
- 4 子ども会（育成会）、PTA、学校協力活動
- 5 子育て支援関係のボランティア・NPO活動
- 6 福祉施設でのボランティア・NPO活動
- 7 高齢者や障がい者の在宅生活を支援するボランティア・NPO活動
- 8 環境など福祉分野以外のボランティア・NPO活動
- 9 参加していない
- 10 その他（具体的に

質問11 あなたが地域活動に参加するとき、支障になること（参加しない又は参加できない理由）はどのようなことですか。次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1 仕事のため時間がとれない | 7 人間関係などがわずらわしい |
| 2 家事や育児のため時間がとれない | 8 興味のもてる活動が見つからない |
| 3 高齢者、障がい者や病人の世話・介護のため時間がとれない | 9 どのような活動があるのかわからない |
| 4 家族の支持・理解がない | 10 きっかけがない |
| 5 自分の健康や体力に自信がない | 11 とくに支障はない(とくに理由はない) |
| 6 一緒に参加する仲間がいない | 12 その他
(具体的に |

質問12 5年前に比べて、住民団体やボランティアによる地域福祉活動（地域サロンや子育てサークルなど）が活発に行われるようになったと感じますか。

- | | |
|----------------|---------|
| 1 感じる | 4 感じない |
| 2 どちらかといえば感じる | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば感じない | |

質問13 5年前に比べて、住民団体や関係機関（町内会、地区社会福祉協議会など）が連携して活動することが多くなったと感じますか。

- | | |
|----------------|---------|
| 1 感じる | 4 感じない |
| 2 どちらかといえば感じる | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば感じない | |

3 地域福祉を支える制度についてお聞きします

質問14 秋田市では、平成31年3月「第4次秋田市地域福祉計画」をつくっています。地域福祉の趣旨は、「誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせるよう、みんなで支えあう地域社会をつくっていくこと」ですが、このことについて、あなたの考えを次の中から1つ選んでください。

- 1 地域福祉の趣旨に沿った取組に関わっている
- 2 地域福祉の趣旨は理解できるが、行動には至っていない
- 3 地域福祉の趣旨は理解できるが、賛同できない
- 4 地域福祉の趣旨は理解できない
- 5 よくわからない
- 6 その他（具体的に）

質問15 あなたは、おおむね小学校区単位で組織されている「地区社会福祉協議会」についてご存じですか。次の中から1つ選んでください。

- 1 知っている
- 2 名称は聞いたことがあるが、活動の内容は知らない
- 3 知らない

質問16 あなたは、福祉に関する相談ボランティアである「民生委員・児童委員」についてご存じですか。次の中から1つ選んでください。

- 1 地域の担当委員が誰か知っており、仕事の内容も知っている
- 2 地域の担当委員が誰か知っているが、仕事の内容は知らない
- 3 地域の担当委員が誰か知らないが、仕事の内容は知っている
- 4 名称は聞いたことがあるが、地域の担当委員も仕事の内容も知らない
- 5 知らない

質問17 あなたは、犯罪を犯した人や非行少年の更生、社会復帰の支援を行う「保護司」についてご存じですか。次の中から1つ選んでください。

- 1 知っている
- 2 名称は聞いたことがあるが、活動の内容は知らない
- 3 知らない

質問18 地域の高齢者などに対して総合支援や相談を行う「地域包括支援センター」についてお聞きします。次の(1)(2)からそれぞれ1つずつ選んでください。

(1) センターをご存じですか。

- 1 知っている
- 2 名称は聞いたことがあるが
事業の内容は知らない
- 3 知らない

(2) センターを利用したり、相談したことはありますか。

- 1 利用したり相談したことがある
- 2 利用したり相談したりしたことはない
- 3 わからない
- 4 その他（具体的に)

質問19 子どもや家庭に関する総合支援や相談を行う「子ども未来センター」について
ご存じですか。次の中から1つ選んでください。

- 1 知っている
- 2 名称は聞いたことがあるが、事業の内容は知らない
- 3 知らない

質問20 あなたは、生活支援員が判断能力の不十分な高齢者や障がい者の福祉サービス
利用の援助などをする「地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）」
についてご存じですか。次の中から1つ選んでください。

- 1 知っている
- 2 名称は聞いたことがあるが、事業の内容は知らない
- 3 知らない

質問21 あなたは、後見人が判断能力の不十分な高齢者や障がい者の財産管理や身上
監護などをする「成年後見制度」についてご存じですか。次の中から1つ選んでください。

- 1 知っている
- 2 名称は聞いたことがあるが、制度の内容は知らない
- 3 知らない

質問22 あなたは、成年後見制度の活用の支援や相談を行う「権利擁護センター」に
ついてご存じですか。次の中から1つ選んでください。

- 1 知っている
- 2 名称は聞いたことがあるが、事業の内容は知らない
- 3 知らない

質問23 5年前に比べて、福祉保健サービスが充実し、適正に供給されていると感じますか。

- 1 感じる
- 2 どちらかといえば感じる
- 3 どちらかといえば感じない
- 4 感じない
- 5 わからない

質問24 5年前に比べて、防災、急病など緊急時に備えるための地域活動（地域での災害時要援護者への支援、救急医療情報キット（安心キット）の取組など）が進んでいると感じますか。

- | | |
|----------------|---------|
| 1 感じる | 4 感じない |
| 2 どちらかといえば感じる | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば感じない | |

質問25 5年前に比べて、地域（公共施設、歩道など）や住宅のバリアフリー化（段差を少なくするなど）が進んでいると感じますか。

- | | |
|----------------|---------|
| 1 感じる | 4 感じない |
| 2 どちらかといえば感じる | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば感じない | |

質問26 5年前に比べて、高齢者や障がい者の自立した生活のための支援等が増えたと感じますか。

- | | |
|----------------|---------|
| 1 感じる | 4 感じない |
| 2 どちらかといえば感じる | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば感じない | |

4 これからの地域づくりに関してお聞きします

質問27 あなたは、互いに助け合う地域づくりの支障となることはどのようなことだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 近所づきあいが希薄になっていること
- 2 既存の地域活動には新しい人が入りづらいこと
- 3 家庭の相互扶助機能（親や身内の世話や介護など）が弱まっていること
- 4 ひとり親家庭や障がい者への偏見があること
- 5 他人に干渉されすぎること（プライバシーが守られないこと）
- 6 住民の価値観が多様化していること
- 7 一人ひとりのモラルが低下していること（ルール・マナーが守られないこと）
- 8 日中、地域を離れている人が多いこと
- 9 職業、出身や家柄、国籍や人種・民族などにこだわること
- 10 わからない
- 11 その他（具体的に

質問28 あなたは、高齢者や障がい者が住み慣れた地域で日常生活を続けていくためには誰（どこ）の理解と協力が一層必要と思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1 家族 | 6 町内会・自治会 |
| 2 行政機関（福祉事務所、保健所など） | 7 社会福祉協議会 |
| 3 近所の人（地域住民） | 8 ボランティア団体・NPO団体 |
| 4 福祉・保健サービスを提供する施設や事業者 | 9 わからない |
| 5 民生委員・児童委員 | 10 その他
（具体的に |

質問29 あなたは、福祉サービスを提供していくうえで、市民と行政との関係はどうあるべきだと思いますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 行政が責任を果たすべきであり、市民はそれほど協力することはない
- 2 行政が責任を果たすべきだが、手の届かない部分は市民が協力すべきである
- 3 市民も行政も協力し合い、ともに取り組むべきである
- 4 家庭や地域をはじめ市民同士で助け合い、手の届かない部分は行政が行うべきである
- 5 わからない
- 6 その他（具体的に

質問30 あなたは、あなたの住んでいる地域では、地域ぐるみでどのような取組を進めていけばよいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 高齢者の支援（見守り・安否確認など）
- 2 障がい者の支援（見守り・安否確認など）
- 3 子育て家庭の支援（悩みごと相談、地域ぐるみの見守り・協力など）
- 4 住民の健康づくり（疾病予防・健康増進など）
- 5 災害への備え（自主防災組織づくりなど）
- 6 事故や犯罪の防止（防犯パトロールなど）
- 7 消費生活トラブルの防止（情報提供や地域への声かけなど）
- 8 まちづくりのルールづくり（地区計画、建築協定など）
- 9 町内会・自治会活動の推進
- 10 福祉教育の推進（小中学校への情報提供、学習活動への協力など）
- 11 生涯学習の推進（地域の連帯感を高めるための行事など）
- 12 街区公園などの維持管理（草刈り、清掃など）
- 13 生活環境整備の促進（道路や下水道の整備など）
- 14 わからない
- 15 その他（具体的に

質問31 あなたは、これからの行政が福祉を進めるために優先して取り組むべきことはどれだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 地域活動・ボランティア活動への参加の促進や支援
- 2 防災や見守りなど住民が共に支えあう仕組みづくりへの支援
- 3 保健福祉に関する情報提供や案内、相談窓口の充実
- 4 高齢者や障がい者になっても在宅生活が続けられる福祉サービスの充実
- 5 健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実
- 6 権利擁護や苦情対応などのサービス利用者の保護
- 7 小・中学校や地域での福祉教育の推進
- 8 高齢者、障がい者、児童の福祉施設の整備
- 9 手当の支給などの金銭的援助
- 10 道路の段差解消などの福祉のまちづくり（バリアフリーの推進）
- 11 わからない
- 12 その他（具体的に

)

質問32 あなたは、地域にある福祉施設（保育所、老人福祉施設など）は地域社会とどのように関わっていけばよいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 地域の事業・行事への参加と協力
- 2 施設の利用者と地域住民との日常的な交流
- 3 専門分野に関する研修会の開催や地域で行われる勉強会への講師の派遣
- 4 ボランティアを希望する住民の受け入れ
- 5 地域住民の交流会・懇談会の開催のためのコーディネートや場所の提供
- 6 災害時の避難受け入れなどの支援
- 7 相談体制の充実
- 8 その他（具体的に

)

質問33 あなたは、地域社会（住民・地域団体）が行政とともにこれまで以上に積極的に関わっていくことで全体的な状況が改善できるものはどれだと思いますか。効果が大きいと思うものを次の中から3つまで選んでください。

- 1 ひとり暮らし高齢者などの見守りによる孤立(独)死の防止
- 2 災害時要援護者に関する情報の共有による避難支援
- 3 地域での声かけなどによる自殺予防
- 4 地域での見守りによる児童虐待、高齢者虐待の防止
- 5 地域での見守りや相談による子育て支援
- 6 道路などのバリアフリー化の促進
- 7 生活道路のすみやかな除雪
- 8 情報の伝達や体制づくりなどによる防犯・防災
- 9 世代間の交流などによる地域の絆づくり
- 10 地域ぐるみでの住民の健康維持
- 11 その他（具体的に

)

5 あなたご自身についてお聞きします

質問34 あなたの性別と、年齢をお書きください。

性別

年齢

歳（令和4年12月31日現在）

質問35 あなたの住んでいる地域を、次の中から1つ選んでください。

- 1 中央地域（大町、旭北、旭南、川元、川尻、山王、高陽、保戸野、泉（JR線西側）、千秋、中通、南通、榑山、茨島、八橋）
- 2 東部地域（東通、手形、手形山、泉（JR線東側）、旭川、新藤田、濁川、添川、山内、仁別、広面、柳田、横森、桜、桜ガ丘、桜台、下北手、太平、大平台）
- 3 西部地域（新屋、勝平、浜田、下浜、豊岩）
- 4 南部地域（牛島、卸町、大住、仁井田、御野場、御所野、四ツ小屋、上北手、山手台）
- 5 北部地域（寺内、外旭川、土崎、将軍野、港北、飯島、金足、下新城、上新城）
- 6 河辺地域
- 7 雄和地域

質問36 あなたは、秋田市（合併前の河辺町・雄和町を含む）にお住まいになって通算して何年くらいになりますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 5年未満
- 2 5年～9年
- 3 10年～19年
- 4 20年～29年
- 5 30年以上

質問37 あなたの世帯が現在暮らす住宅について、次の中から1つ選んでください。

- 1 持ち家（一戸建て）
- 2 持ち家（マンション）
- 3 借家（一戸建て）
- 4 借家（アパートやマンション）
- 5 その他（具体的に

質問38 あなたの職業について、次の中から1つ選んでください。

・有業者（日常的に仕事をしている人）

- 1 雇われている人（会社員、公務員、団体職員、パートなど）
- 2 会社・団体などの役員
- 3 自営業主・家族従業者（個人商店、農家など）
- 4 その他（具体的に

・無業者（日常的に仕事をしていない人）

- 5 学生
- 6 専業主婦
- 7 年金生活者
- 8 その他（具体的に

質問39 あなたの同居している家族について、次の中から1つ選んでください。

- 1 単身
- 2 夫婦だけ
- 3 親・子の2世代（中学生以下の子どもがいる）
- 4 親・子の2世代（中学生以下の子どもがいない）
- 5 親・子・孫の3世代（中学生以下の子どもがいる）
- 6 親・子・孫の3世代（中学生以下の子どもがいない）
- 7 その他（具体的に

質問40 あなたの現在の暮らし向きは5年前と比べていかがですか。次の中から1つ選んでください。

- 1 余裕がある
- 2 やや余裕がある
- 3 変わらない
- 4 やや苦しい
- 5 苦しい

これで質問は終了です。ご協力ありがとうございました。